



新鮮な野菜が並ぶコーナー

「地・食べ」の直売所がコープにも

そうじゃ地・食べ市場オープン

地産地消を進めるそうじゃ「地・食べ」委員会が4月16日、生活協同組合おかやまコープのコープ総社東に、総社産の新鮮な野菜を提供する直売所「そうじゃ地・食べ市場」を開設しました。

これで「地・食べ」直売所は8か所。市内各所で栽培契約を結んでいる市内の認定生産者が育てた安全で安心な野菜や加工品を身近に買い求めることができます。



ロープを引っ張りこいのぼりをあげる

天高くこいのぼりをあげる

見延橋にこいのぼり

子どもたちの健やかな成長を願い、見延子供育成会が4月21日、岡山自動車道の見延橋にこいのぼりをあげました。

児童や保護者ら約50人が参加。ロープを引っ張ると地元住民が寄付した色とりどりのこいのぼりや吹流し25匹が悠々と大空を泳ぎはじめました。



備中国分寺の五重塔を描く子ども

ふるさと吉備の風景を描く

吉備再発見写生大会

吉備の豊かさを感じてもらおうと吉備再発見写生大会が5月12日、備中国分寺や井山宝福寺、清音ふるさとふれあい広場、名勝豪溪の4か所で開催されました。小学生や幼稚園児など約130人が参加。子どもたちはそれぞれ思い思いの場所で、吉備路の風景を画用紙いっぱい描いていました。

●ミニフォト

100歳おめでとう



祝福される角田さん

5月1日に角田喜美子さん（下林）が100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。何事にも一生懸命取り組むという角田さん。長寿の秘訣は好き嫌いなく食べ、前向きに生活することだそうです。

緑のカーテンでクールビズ



ゴーヤを植える新規採用職員

ゴーヤの葉で作る「緑のカーテン」で直射日光を遮り、市役所内の冷房効率を高めようと、5月13日、今年4月採用の新採用職員10人がゴーヤの植え付けを行いました。市役所南と東側の前庭やプラントナーに67本の苗を植えました。

北の吉備路の自然にふれる



「何かいる」と覗き込む子ども

自然観察会「水辺の生き物」が5月12日、鬼城山ビジターセンター周辺で開催されました。小学生以下の子どものとその保護者、約20人が参加。子どもたちはおたまじゃくしやタナゴなどを見て、自然を肌で感じていました。



①幻想の饗宴で吉備津を舞う備中神楽総社中 [5/3] ②吉備路れんげまつりでレンゲを摘む子ども [4/29] ③吉備路れんげまつりのステージ [4/29] ④吉備路もてなしの館で開かれたフリーマーケット [5/3] ⑤備中国分寺五重の初層を案内する吉備路観光ボランティアガイド [5/3] ⑥吉備路れんげまつりで試食販売されたご当地アイス「そうじゃ愛す」 [4/29]



春の陽気漂う吉備路を満喫

吉備路れんげウィーク

「吉備路れんげウィーク」と銘打ち4月27日から5月6日までの10日間、さまざまなイベントが備中国分寺周辺で展開され、多くの人が春の吉備路を満喫しました。

日中はレンゲが、夜にはライトアップされた備中

国分寺五重塔が、人々を魅了していました。吉備路れんげまつりやフリーマーケットなどは多くの家族連れらでにぎわい、ライトアップされた五重塔前で繰り広げられる和太鼓の演奏や神楽の舞を楽しみに訪れた人も多くいました。

メーデーは大盛り上がり



バルーンアートのステージ

吉備路ふれあいメーデーが4月28日、カミガツジプラザで開催されました。市内約20の労働組合による出店やコンサート、バルーンアート、お楽しみ抽選会などがあり、訪れた家族連れらの楽しそうな声が会場に響いていました。

日ごろの練習成果を披露



演奏する団員

総社吹奏楽団の演奏会が4月21日、市民会館で開催されました。団員約50人が「エル・カミーノ・レアル」やミュージカル「ラ・マンチャの男」セレクションなど11曲を披露。軽快で心地よい音色で約500人の観衆を魅了していました。

本に親しむ機会を広げる



お話しに引き込まれる子ども

こどもの読書週間に合わせ、としょかんまつりが5月12日、図書館で開催されました。エブロンシアターやパネルシアター、人形劇などの催しが用意され、訪れた子どもたちは本やお話しの世界を楽しんでいました。